



活動報告



魁会では本年度も、月に1度の定例会を開き、活動行事について様々な意見交換を行い、魁祭への参加や同窓会会報誌の発行などに取り組んできました。

》 魁会活動報告

- 4月14日 魁会会議 会則について
- 4月28日 魁会会議 個人情報保護方針について
- 5月16日 魁会会議
- 6月20日 魁会臨時総会
- 7月18日 魁会会議
- 10月 3日 魁祭 打ち合わせ
- 10月24日 //
- 10月25日・26日 魁祭 野菜市(バザー) 参加
- 11月14日 魁会会議 魁祭反省会、会報誌作成に向けて
- 1月 9日 魁会会議 会報誌作成に向けて
- 1月22日 魁会会議 //

》 今後の予定('09)

- 8月 魁会総会開催
- 10月 魁祭 参加

お詫び

魁会会報誌第2号の宇部フロンティア大学 人間健康学部 学部長 河野保子先生のご挨拶文中、4年間の教育終了時に取得できる資格・免許の紹介にて、「保健師免除」とありましたが、正しくは「保健師免許」の誤りです。大変失礼いたしました。

お知らせ

》 今夏に同窓会総会を開催いたします。日時や場所等、後日文書にて皆様にお知らせいたします。多くの方の参加をお待ちしています。

》 氏名、勤務先、住所、その他が変更となった際は、魁会事務局までご連絡ください。

《連絡先》 魁会事務局 TEL (0836) 38-0513  
E-mail:sakigakekai@frontier-u.jp

》 魁祭(大学祭)のためのキャッシャー(レジ)と日除け暖簾を購入いたしました。



新会長挨拶

宇部フロンティア大学・大学院  
同窓会 2代目会長 河村修司

2002年4月に開学された宇部フロンティア大学は、2004年に、大学院人間科学研究科臨床心理学専攻、2005年には人間社会学部に児童発達学科を増設、2006年には人間社会学部を福祉心理学科に学科名を変更されました。そして2007年4月には3つ目の学部である人間健康学部看護学科が開設され、2年目が経ち、教育の分野もますます充実してきております。また、大学院開設と同時に併設された大学院附属臨床心理相談センターも今年で5年目を迎え、利用される方もますます増え、地域に根付いた大学として発展し続けております。

2006年3月の第1期生卒業に伴い、発足した同窓会も3年目を迎え、魁祭での野菜市等、母校のための活動に励んでおります。野菜市での売れ行きは好評で、沢山の地域の方たちに喜んでいただけました。来年度も行いたいと思いますので卒業生の皆様お誘い合わせ、是非足をお運びください。

また、皆様のお手元にお送りする会報誌も今年で3号となり、今回は、第3期卒業生の就職情報や、資格試験を見事合格された方のインタビューを載せております。他にも、恒例となりつつある「同窓生の声」、魁祭での野菜市の様子や学校の現在の様子など、発展を重ねているフロンティア大学の姿をお伝えしております。

同窓会の会議では、従来取り行われてきた同窓会の規約の見直しや訂正を重点的にを行い、切磋琢磨した話し合いを重ねてきました。そして、今年度話し合った内容や、今後の会議で重ねた話し合いを、今年行われる第2回同窓会総会の開催に活かし、会員の皆様喜んでいただけるような企画運営を行いたいと考えております。同窓会役員一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後も、会員の皆様にとって、母校を身近に感じられる組織として発展し、地域貢献を行えるよう役員一同尽力する所存でありますので、会員の皆様方に置かれましては、ますますのご支援、ご協力をお願いいたします。



同窓生のみなさんへ  
児童発達学科の第一期生も  
仲間入りです

宇部フロンティア大学 人間社会学部  
児童発達学科 今西一寛

同窓生の皆さん、お元気ですか。それぞれの職場で元気に仕事に頑張っていることと思います。慣れない職種では苦労されているのではないかと思います。この3月には200名弱の人が卒業し、皆さんの仲間入りをします。その中には、平成17年4月に開設された第一期児童発達学科の学生さんも仲間入りをします。同じキャンパスで学んだ仲間は、時代を越えて結びついていくものと思っていますし、それは今までに味わえなかったものが、大学のキャンパスの中で培われたからだと思います。

私の経験でも学生時代の仲間は今でも会えば話に夢中になり、当時の友人ネットワークは自分の財産になっています。相談に乗ってもらえますし、情報の入手にも力を貸してくれますし、やはり相互に苦労した友人仲間は人生の中で力を貸してくれるものです。

この3月に児童発達学科の第1期生の皆さんが卒業します。当学科は保育士、幼稚園教諭、養護教諭の3つの資格が同時に取得でき、この3つの資格が同時に取得できるのは、全国的にも大変めずらしいものです。大半の学生は少々苦労したとは思いますが、この3つ資格を取得して、初志貫徹して卒業を迎えていると思います。4年間専門的知識を身に付けるべく勉強してきたので専門職に就けばなおのことですが、それ以外の職種に就いても、いろいろな形で生かしてほしいと願っています。

最初に就職した職場で、これから就職場で、その職種の専門家になるという意気込みで頑張してほしいと心から願っています。その数年間のさまざまな経験がやがてその後の人生に大いに役立つと確信しています。

時には各研究室にもふらっと立ち寄って近況を知らせてください。心待ちに待っています。

魁会新役員紹介



この度、大学・大学院3期生の中から、新たに4人が魁会役員に加わるようになりました。よろしくお願いいたします。役員は随時、募集中ですので同窓会活動の企画運営してみたいと思われる方は、ご連絡ください。

《連絡先》 魁会事務局 TEL:0836-38-0513 E-mail:sakigakekai@frontier-u.jp

3期生 新役員： 石井 啓嗣、千住 晃、高橋 耕介、平野 忠雄

編集後記

我らが宇部フロンティア大学の卒業式から、いつの間にか9ヶ月が経ちました。送る月日に関守なし、本当に月日の経つのは早いなとしみじみ感じる今日この頃です。さて、人生の新たなステージに立たれた皆さんは忙しい日々を送っていることでしょうか。そんな皆さんに第3号の魁会会報誌をお届けします。徐々に懐かしさの生まれてきた学生時代を少しかけ振り返ってみては如何でしょうか。皆さんがこの会報誌で懐かしき日々を少しでも振り返れたなら幸いです。そういった想いを糧に魁会の更なる発展に努めて参りたいと思います。最後になりましたが、お忙しい中本誌作成にご協力くださいました皆様にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

(3期卒業 魁会役員一同)



## 「社会福祉士」資格試験合格インタビュー

# やらねば、絶対合格しない

人間社会学部 学部長  
白石 義彦



魁会の会長さんと副会長さんが突然これ、「社会福祉士」国家試験（以下、国試という）合格の体験や学生・卒業生へのメッセージを依頼された。

私は、平成20年1月に実施された第20回国試に合格し、4月登録した。

### どうして受験したの！

学生に“大丈夫か？”と聞くと、“がんばってます！”と軽く返る。しかし近づくにつれ次第に言い訳と愚痴が耳につく。私は、この歯がゆさが溜まらず受験体験するしかないと考えようになった。

### 妻の抵抗と想定内・外

昨年11月、全国模試を学生と一っしょに受けることを妻に話したところ、“それだけは止めて！”と激しく抵抗された。一向に心は治まらず受験したが、結果は想定内とはいえ強烈なショックを受けた。あと5分という時点で10問も残す有様で、化石的なテクニックを思い出して全て「3」にマークしたが、結果は2問の正解であった。学生の“先生が落ちたら恥じよネ！”の、いじめとも取れる微塵もない温かみに傷ついたが、結果は何とか正答率60%を確保した。試験日2ヶ月前に“やるっきやない”と決心したが、出勤前の2時間の受験勉強、朝4時半起きのリズムが定着したのは1か月を残すのみであった。

### 求む「社会福祉士」

ここ1~2年、福祉現場において国家資格取得者を求める傾向が顕著になった。国家資格の必要性を問われると、人間と社会環境に関わる実践の科学であるが故の要求であると答える。やっとの感がする。知識、技術、倫理、実践（介入）の総合性が求められ始めた。現在、国試科目の大改正、「新カリキュラム」移行が進められているが、専門職に求められる本質がより具体的かつ鮮明になってきた。福祉現場回りをすると分かるが、社会はソーシャルアクションの専門的担い手を求めている。

### 国試攻略法10か条

- ①絶対合格するという強い信念を持つ。
- ②自分の力量(全科目)を知る。
- ③自分の弱点(苦手科目)を知る。
- ④試験日をゴールとした具体的な学習計画を作成する。
- ⑤絶対学習時間を確保する。
- ⑥弱点科目の学習時間を重点確保する。
- ⑦決めたら確実に実行する。
- ⑧ひたすら、あわてず、黙々と学習する。
- ⑨リラックスタイムを確保する。
- ⑩模擬試験は最低3回受験する。以上の戦略を開示するが、戦術は後の機会に教えよう。

### やれば、絶対合格する

先日、某大学の国試対策委員長になった友人から招聘されたが、対象は1年生であった。勉強量からして私の突破は運以外の何ものでもなく真似ないでほしいが、とにかく早期開始、学習の絶対量がものをいう。政策手法で教えられた元経済財政政策担当大臣竹中平蔵氏は、著書のなかで、“世の中をよくしたいなら勉強しろ”高校の先生の一言が自分を導いてくれ、イチローと松井から“努力できることが才能である”ことを教えられ、座右の銘としているとの記述がある。甚く感じる。

## 現在の宇部フロンティア大学の様子

同窓生の皆さんの思い出のキャンパス。変らない懐かしい風景もあれば、リニューアルしたスペースもあります。現在の大学キャンパスの様子を少しご紹介いたします。



### 看護棟



看護実習の様子

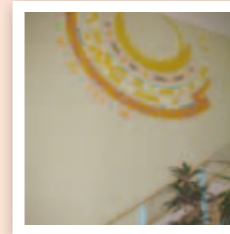


看護実習室

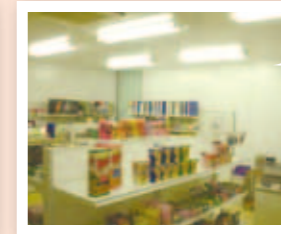


器材準備室

平成19年4月に開設された人間健康学部・看護学科は、専門学習に必要な実習室や機械・器具が充実し、多くの学生が日々学んでいます。



看護棟内



購買部

冬期のおすすめは肉まん



### 研究棟 講義棟



臨床心理学実習室



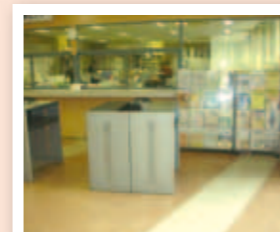
41演習室(箱庭)



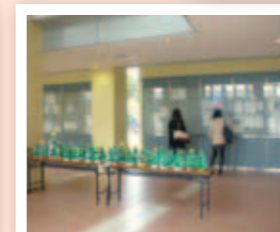
41演習室(勉強会風景)

同窓生の皆さんのお馴染みの研究棟。懐かしいでしょ。

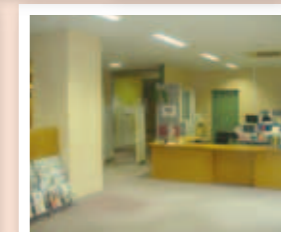
学生のための研究室(心理)に変わりました。



学生支援センター前



掲示板前



図書室



### スチューデントハウス



クラブ活動の拠点として、毎日学生達が生徒利用しているクラブハウスです。

### チャイルドセンター



地域の子どもたちとのふれあいの場として実践学習にも活用しています。

### 食堂



安くておいしい私たちの学食です。



宇部フロンティア大学 人間社会学部 人間社会学科 3期卒

柴田 香織

### 若葉マークは頑張ってます

大学を卒業してもう1年が経とうとしています。大学在学中は福祉を専攻し、人と関わる職業は福祉だけではないと思い、職業の視野を広げ、旅館業に就きました。親元を離れ、慣れない土地で一人暮らしをはじめ、会社

の一員として仕事をする、何もかもが初めてで、慌しく時が経っていきました。

社会人になって、学生アルバイトや実習生とは大きく違うものをもつようになりました。それは「責任」です。会社の一員として働くことの責任は、自分ひとりのサービスの良し悪しで会社の評価が左右されることにあります。もちろんスタッフ同士の連携も必要ですが、お客様にとってはひとりひとりのスタッフを「企業の顔」として見ているからです。

私は忘れっぽい性格で、業務中にも物忘れをしてしまいます。ある日、客室へ夕食後におむすびを届けなければならなかったことを忘れてしまい、朝になってそのことに気づきました。結局は他のスタッフが届けてくださったのですが、届かなかった場合、お客様に不快な思いをさせてしまいます。ひとりのスタッフの失敗で、会社全体がクレームを受けることに繋がります。

また一方で、ひとりのスタッフの成果でお客様に満足いただけた場合、会社に好評価が与えられます。アンケートなどを通じて、日々お客様からお褒めの言葉をいただきます。「対応して下さった係の人の気配りがとてもよかった」など、サービスに満足いただけた言葉を聞くと、私もお褒めの言葉がいただけるように頑張らなければ…と仕事への活力にもなります。

私には、まだまだ課題が多く、感性を磨くことやゲストウォッチング（お客様が何を欲しているか感じ取ること）、お客様へ積極的に声を掛けることなど、お客様に満足していただけるために日々努力しなければなりません。この課題は旅館業だけに限らず、サービス業はもとより、人と関わる仕事には必要不可欠なことです。お客様にくつろぎやすさを与えるには温泉や客室などの設備が重要ですが、サービスは人にしかできません。「ありがとう」と感謝の言葉をお客様にいただけるだけでも、この仕事に就いてよかったと思います。



宇部フロンティア大学 人間社会学部 人間社会学科 3期卒

清水 隆仙

### 与えられた機会と選んだ結果

まずはこの場を借りて、学校推薦で入社させて頂いた職場をわずか5ヶ月半で辞職してしまったことにより、お世話になった先生方に多大なるご迷惑をおかけしてしまったことについて深くお詫びを申し上げます。

現在、私はデイサービスを辞職し、特別養護老人ホームにて介護士として働かせて頂いています。先輩や上司の方々からご指導を頂くことにより、日々精進をしています。

この文章を作成するに至って、これまでの自分の行動について思い返すこととなりました。今まで私は、自分の行動に対し明確な意志を持っていなかったため、行動に伴う責任については一切考えておらず、また、その行動による責任の所在が自分だけに留まらず、周囲にまで迷惑をかけてしまう可能性を考えていなかったことに気が付きました。今回の就職の件につきましても、ただ入社させて頂けるならという浅はかな気持ちと、就職活動に苦勞をしないで済むという安易な気持ちとで決めてしまったことにより、このような恥ずべき事態を招いてしまいました。

デイサービスでは、明確な目的を持たずに入社してしまったことにより、話し合いといった討議の場において、他者の意見に対立してまで貫き通す程の自分の考えや主張を持つことが出来ませんでした。施設の理念や方針といった大事なことについて話し合う場に立ち会っても、ただその場を眺め、ただその出た結論に対して頷き、同意の言葉を発言するだけになっていきました。自分なりの考えや目的を持とうとしましたが、すぐに妥協をしてしまったり、理想を述べただけの机上の空論であつたりなどの程度のものでしかありませんでした。

そのため、職場における自分の存在意義を見出すことが出来ず、ただそこにいるだけの存在になってしまい、何をしたいのかではなく、何をしたらいいのかという人の顔を伺うようになり、そのような日常に耐え切れなくなり、辞職することにしました。

何かしらの行動を取る際は、明確な自分の意志を持ち、それによって生じる問題を受け止める姿勢が必要だと思えます。私はこのことを教訓に今後とも頑張っていこうと思います。



宇部フロンティア大学大学院 人間科学研究科 臨床心理学専攻 3期卒

松岡 恵加

### 社会人10ヶ月で実感すること

私が心理士を目指したきっかけは、高校の時に友達が心理学に興味をもっていたからでした。それから自分なりに考え、心理コースのあるフロンティア大学に一期

生として入学し、大学院を修了しました。そして現在、精神科病院の心理士として勤務し、10ヶ月が過ぎようとしています。就職が決まった時は、やっとここまでこれたと一安心したことを覚えています。

しかし、まだまだ悩むことや戸惑うことが多く、自分にはやっていけないんじゃないかと不安に思うこともあり、これでよかったのかと考えることもあります。そんな時、支えてくれる仲間がいます。同期の仲間は嬉しいことはもちろん、辛いこと、悔しいこと、情けなく思ったこと、どんなことでも話を聞いてくれ、自分のことのように一緒に考え、励ましてくれます。この10ヶ月間、何となく仲間の存在に助け、支えられ、そしてその度に仲間の大切さを感じました。

また支えてくれたのは、同期の仲間だけではなく、先に就職してがんばっている仲間、後輩や先輩、大学の先生や職員の方々、職場では心理だけでなく他部署の方々、そして家族にも支えられています。悩んだ時に相談にのってもらうことだけが支えではなく、絆が大切なんだと実感できるようになりました。

社会に出て収入を得るようになり、生活をしていくという意味では自分のことがなんとか自分でできるようになりました。しかし、人との絆はいつまでも大切なものであり、支えてくれる人たちがあつての私なんだと感じます。今はまだ自分のことに精一杯で、目の前のことに一生懸命という状況です。しかしこれも、たくさんの人たちとの絆に支えられているからこそだと思います。仕事をする上での知識や技術の研鑽が大切なことはもちろん、日頃当たり前に感じていることを振り返ることで、これからも様々なことに気付いていきたいと感じる、社会人10か月です。

## 学生の就職状況



就職支援室 室長 吉森 忠彦

平成20年度が平成19年度と大きく変わった点は、アメリカのサブプライム問題に端を発した世界同時不況が深刻さを増してきている点です。このことは今年卒業予定の学生の就職にも大きな陰を落とすとして来はじめています。本学学生の中にも内定辞退を迫られるような例も出てきており、厳しい状況になってきていると考えておかなければならないでしょう。

### 1. 求人状況

平成19年度卒業生(平成20年3月卒業)は、経済の順調な伸びと好調な企業業績に支えられて、好環境に恵まれました。

(1) 業種別の求人状況(図1を参照ください)

(2) 地域別求人状況(図2を参照ください)

### 2. 就職状況

平成19年度の就職率は、経済の好調に支えられ一般企業・福祉施設合わせて約91%でした(20年3月末現在)。就職支援室では本年度も昨年度並みかそれ以上を目指して頑張っています。

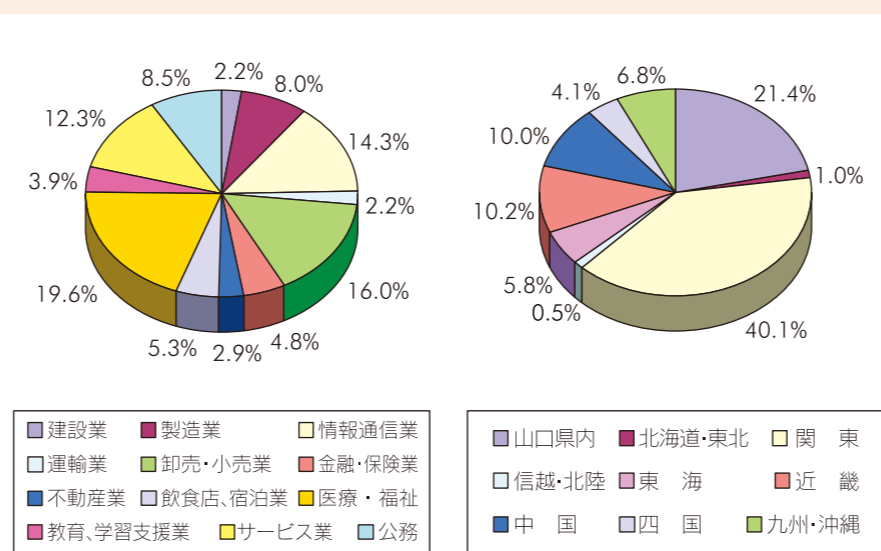


図1 求人業種別比率

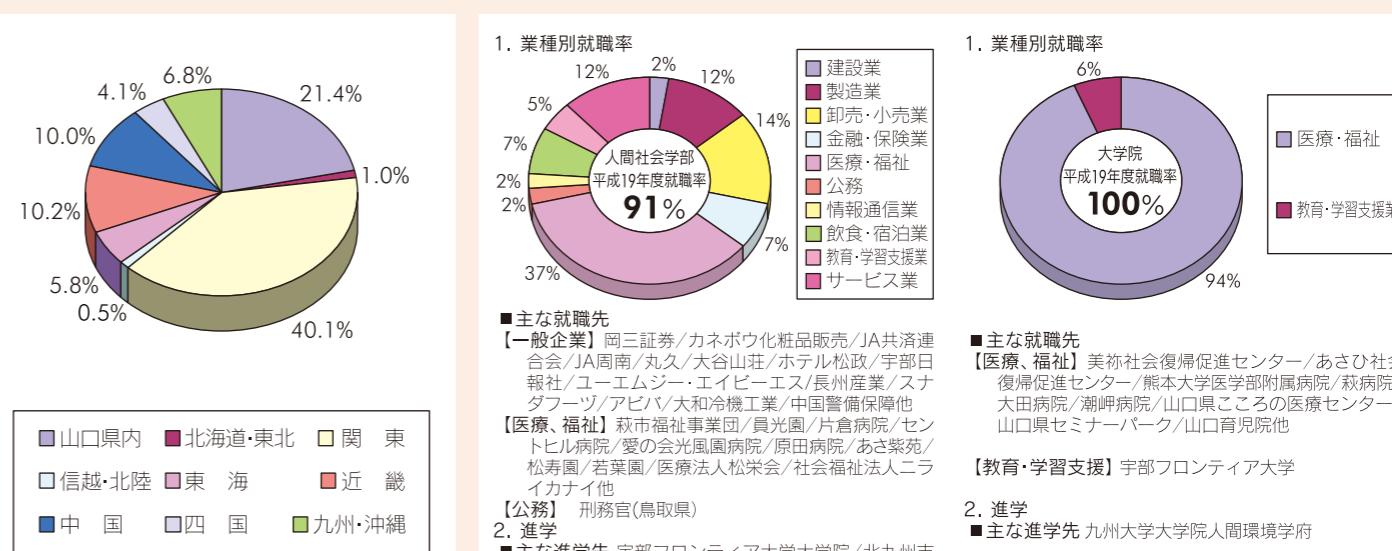


図2 求人地域別比率

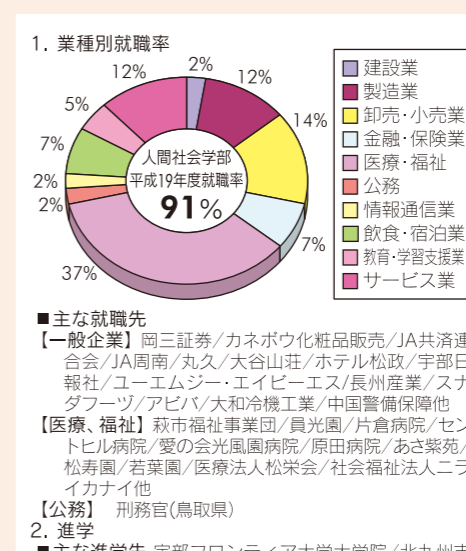


図3 平成19年度人間社会学部卒業生(第3期生)の進路

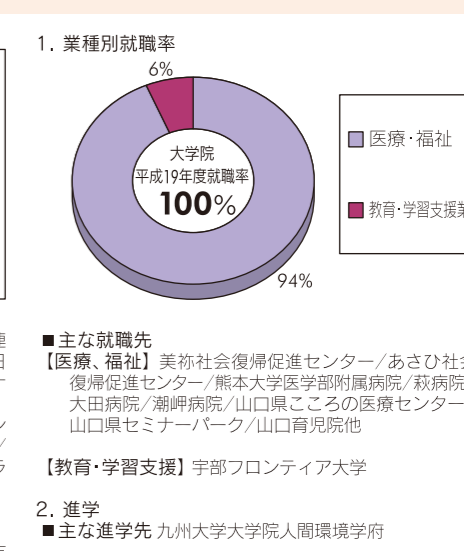


図4 平成19年度大学院卒業生(第3期生)の進路